

美しい多摩川フォーラム・平成29年度総会議事録

- ・日 時 : 平成29年5月27日(土)9:30~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成28年度事業決算(案)、第2号議案では平成29年度事業計画・同予算(案)、第3号議案では、運営委員・監事の選任(案)についてご協議をいただきます。後半は、臨時運営委員会を挟んで、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱、臨時運営委員会の結果報告、副会長による応援メッセージ、意見交換を予定しており、終了は午前11時半頃となります。なお、広報用ビデオ・写真を撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしく願い申し上げます。

それでは、開会まで少々のお時間をお借りして、フォーラムのPRビデオを上映しますので、前方のスクリーンをご覧ください。<フォーラムCM放映>

1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・平成29年度総会を開会致します。私、申し遅れましたが、本日の司会進行役を務めさせていただきます渡辺と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局) フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、フォーラムの1,492会員中、委任状による代理人出席を含め181会員が出席され、書面議決書提出の会員数を加えて、合計837会員ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。本日の資料の確認ですが……。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。2日ほど雨が降り、心配しておりましたが、晴れてくれました。今日の総会はとても重要な総会です。と申しますのも、当フォーラムが設立されてちょうど10周年を迎える節目だからです。この総会は年1回ですが、皆さまと直接ご意見を交換できる重要な会です。今日は、衆議院議員の井上先生、京浜河川事務所の服部所長、青梅市長の浜中様、狛江市市長の高橋様、また、大田区や羽村市からもおいでいただきました。そして、私が日頃お世

話になっている方々も沢山お見えです。今日は皆さまと親しく色々なことを語り合い、有意義な一日にしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆さまからご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、フォーラムの顧問をお願いしている衆議院議員の井上信治様にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしく願い致します。

(井上信治様) 皆さまおはようございます。美しい多摩川フォーラムの総会、また10周年、誠にありがとうございます。私は多摩川の上流域、西多摩地区から選出しております、衆議院議員の井上信治です。まずもってこの美しい多摩川フォーラムの皆さん、細野会長をはじめとした役員、会員の皆さま、青梅信金をはじめとした関係機関の皆さまの大変なご尽力により、多摩川の環境保全を中心に、さらにはそれを活かした子どもたちの教育とか、あるいは地域経済の活性化、観光の振興、さらには夢の桜街道など、東北被災地の復興にまでご尽力をいただいていますことを、心から敬意を表したいと思っております。実は私は、昨年夏まで環境副大臣を3年間務めてまいりました。ですから全国的に様々な環境保全の活動に携わり、また、福島第一原発事故の克服に努めてまいりました。そんな中で、地元において地域の皆さま、有志の皆さまが自発的に素晴らしい環境保全の活動を行っていることを大変誇りに思いますし、心から応援しています。現在国会開会中ですが、昨日、種の保存法という法律の改正法を成立させることができました。国内希少野生生物の保存ということで、規制を強化し、生物多様性を維持していこうという取り組みもしております。他方で世界に目を移してみますと、ちょうど今ごろ、イタリアのG7サミットでは、地球温暖化対策としてのパリ協定の存続が危ぶまれ、先進国の首脳の方が、様々な協議をしている状況です。そういう時であるからこそ、日本の国は環境保全で世界をリードしていく、国内でも徹底的にこういった活動を広めていかなければいけないと強く感じています。そして、この環境保全は大変重要であるとともに、困難な仕事でもあります。とても時間がかかります。今から半世紀前は、この多摩川だって魚が棲めないようなドブ川でした。それを多くの先人の皆さまが大変な努力で、今や江戸前のアユが100万匹も遡上できる素晴らしい川に生まれ変わることができたのです。これからも、この多摩川を美しくしていくためには、皆さまがたの長い大きな努力が必要です。ですから、美しい多摩川フォーラムの皆さんが、まさに100年プランとして、これからも長く活動を広めていただければ大変有り難いと思っております。私も心から応援をしています。大変恐縮ですが、公務が重なっており、これで失礼いたします。本日はおめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。ただいまお話がありました通り、井上衆議院議員におかれましては、この後、ご公務のためご退席されます。続きまして、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長・服部敦様に、ご挨拶をお願い致します。

(服部敦様) 皆さんおはようございます。ご紹介にあずかりました、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長の服部です。日頃から多摩川の管理・改修に多大なるご理解とご協力をいただき、有り難うございます。また、このような立派な会にお招きいただき、有り難うございます。10周年ということで、これまで我々も色々と仕事をさせていただきましたが、この多摩川フォーラムの活動があって環境が良くなり、また、多摩川を良いと言っていただいて、私どもの仕事も格段にやりやすくなっており、10周年を本当におめでたいと思っておりますし、これまでの連携も有り難いと思っております。実は私、多摩川に色々な関わりがございます。生まれたのは世田谷区で、今年で50歳になります。先ほど井上議員からご発言があった通り、多摩川が一番汚い頃に多摩川に接して生きておりました。当時、良く釣りに行きまして、釣った魚を屋台のおじさんに持って行くと、焼き鳥をタダにしてもらえました。その後、平成5年から国の研究所に入りましたが、ちょうどその頃、羽村の堰のすぐ下のところにある永田地区で、川を良くするための技術を磨こうと、学識者と一緒に多摩川を研究しました。川をこういう風に改修すると石の川原が復活できると、実際に試したことがあります。それを河川事務所のメンバーに「こうやると良いよ」とアドバイスしていたら、周り巡って自分が事務所長となりました。非常に面白い運命を感じているところです。そうした中で、皆さんの活動も目にしてまいりました。多摩川は、川の中だけの仕事ではないと思います。石を入れるのも、流域があつての話です。また、多摩川特有の自然というのは、ご案内の通り、崖に囲まれています。そこから来る湧水が非常に重要です。上流に行けばいくほど、そうした所に多摩川らしい環境があります。ですから、その湧水をどう守っていくのか、また支川から入ってくるようなところにも、そのようなものが沢山ありますので、そこにも目を配っていかなければなりません。私どものような、多摩川の本川だけを相手にする仕事だけでは収まらないところがあります。そういう訳で皆さまと上手く連携していくのが非常に重要だと痛切に感じております。今後も、良い環境を続けていきたいと切に思っているところであります。最後に、来年度は、多摩川の改修が始まってから100周年になります。昔、「編笠事件」がありました。明治のころ、なかなか改修が進まないのでも民衆が編笠をかぶって陳情しました。それから100年が経ちます。この100年間、私どもがどう良くなって来たかということですが、もちろん治水で頑張ってきた部分もありますが、環境面では皆さんのような方々と連携していくことが重要だと思っておりますので、今一度100年の歴史の中で、皆さんと連携して良くなって来たところを思い出し、次の100年に向けてどうするかということを皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。簡単ですが、ご挨拶に代えさせていただきます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、東京都産業労働局観光部長・坂本雅彦様に、ご挨拶をお願いしておりましたが、急遽所用が発生し、ご欠席の連絡をいただきました。坂本部長様からのご挨拶を事務局がお預かりしておりますので、ここでご披露させていただきます。

「東京都 観光部長の坂本でございます。本日は、急遽所用により出席がかなわなくなり、誠に申し訳ございません。本日「美しい多摩川フォーラム」の総会が、ここに開催されますことを心からお

慶び申し上げます。また、会の発足から十年を迎えられたとのことで、誠におめでとうございます。各方面から「地域づくり団体」として、高い信頼を勝ち得ている本フォーラムでございますが、これは、細野会長を中心に、多摩川流域の地域の皆さまが、息の長い取組みを、着実に展開して来られた成果であると存じます。今年度は、設立10周年の記念事業として、多摩川流域の6市が合同でカヌー一駅伝大会を実施する予定と聞いております。この大会は、都の支援事業を活用して平成28年3月に実施した「多摩川カヌー一駅伝大会2016」をベースとしていただいております。大変嬉しく思っております。こうした取組は、多摩川を地域の貴重な観光資源として捉え、活かしていく誠に素晴らしい事例でございます。今年度のカヌー一駅伝大会の成功と今後の益々の発展を祈念しております。さて、昨年、東京を訪問した外国人旅行者数は、過去最高の1300万人に達しましたが、今後、東京を訪れる外国人旅行者は増加するものと予想されます。そうした中、都は、積極的に観光振興に取り組んでおり、本年1月には東京の観光振興の今後の方向性や具体的な施策等を取りまとめた実行プラン(PRIME 観光都市・東京)を策定いたしました。その中でも、世界に誇る観光資源である東京の水辺の魅力を発信するための施策を柱の1つとして位置づけております。水辺の活用など広い地域に及ぶ観光振興の推進に当たりましては、行政や観光協会、商工団体、大学など地域の皆さま方が、地域や組織の枠を超えて、力を結集し連携して観光振興を進めていく体制をつくり上げていくことが大切でございます。それはまさに、この「美しい多摩川フォーラム」の取組みそのものであると思います。この多摩川フォーラムがお手本となって、地域の特色を活かした観光振興の取組みが都内の様々な地域で活発になっていくように心から期待をしております。結びに、「美しい多摩川フォーラム」の益々のご発展と、本日、ご出席の皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。」

(司会) 東京都産業労働局観光部長 坂本雅彦様でした。続きまして、11月に開催される多摩川カヌー一駅伝大会の主催6市を代表して青梅市長・浜中啓一様に、ご挨拶をお願い致します。

(浜中啓一様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介をいただきました、青梅市長の浜中です。本日は、美しい多摩川フォーラムの10周年を記念した総会ということで、多くの会員の皆さまがご参集して総会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。そして日頃から美しい多摩川フォーラムの皆さまがたは、100年プランという形でスタートされ、今年で10年を迎えるわけですが、これからの多摩川の将来というものをしっかりと位置付けながら、もっともっと豊かな多摩川にしていくような努力をされていると思います。そのような想いで、流域の市としましても、皆さまの日頃の活動に対し心から感謝と敬意を申し上げます。そして、多摩川子ども環境シンポジウムですとか、桜の植樹とか、皆さんが色々な角度で努力されております。これは、皆さんの活動が地域周辺にうるおいをもたらしたり、また、多摩川の自然を親しむきっかけを作ったり、市民の皆さま方に多摩川を通じてもう一度自然を振り返っていただくような機会を作っていることにもなり、我々行政としても、今後の皆さまの活躍を期待したいと思っております。先ほど司会から話がありましたが、青梅市では、今年11月、流域6市の皆さまのご協力をいただき、カヌー一駅伝大会を

開催することになりました。昨年度の東京都主催のトライアル事業では、私どものチームが優勝し、立派なメダルをいただきましたので、今年もディフェンディング・チャンピオンとしてメンバーをしっかり選択して、2連覇を目指して頑張りたいと思っております。自然に親しむ、触れることが環境を守ることの原点だと思っておりますので、多くの流域の市民の皆さんに多摩川に触れてもらいたいという希望で一杯です。青梅市では、多摩川の流域として、多摩川にもっともっと関心を持ってもらうため、1万人の清掃大会や釜の淵公園での新緑祭などの事業を行っております。これからも、もっともっと多摩川を身近に感じていただくような機会を作っていただき、上流から大田区の羽田空港まで素晴らしい環境にしていきたいと思っております。そのためにも、美しい多摩川フォーラムの皆さんと行政が手を携えながら、この多摩川の素晴らしさを多くの市民の方々に認識してもらえよう、これからも努力していきたいと思っております。本日は、会員の皆さんをはじめ、多くの皆さまがご参集してこの総会が盛大に出来ますこととあわせて、これからの多摩川フォーラムの活躍をご期待申し上げ、お祝の挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して狛江市長・高橋都彦様に、ご挨拶をお願い致します。

(高橋都彦様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、狛江市長の高橋でございます。本日は10周年の総会ということで、誠におめでとうございます。今年度の事業計画と予算案を拝見しましたところ、今年も狛江市最大のイベントであるいかだレースと、多摩川流域11市町村からなるイベントラリーに事業化・予算化をいただいておりますので、どうかご承認いただきますよう、よろしく願いいたします。私と美しい多摩川フォーラムの関わりですが、私が5年前に市長に就任した2週間後にいかだレースがあり、知らないうちにいかだに乗せられたのが美しい多摩川フォーラム号で、脇を見るとダニエル・カールさんが乗っていました。そういった縁もあり、この総会には毎回参加させていただいております。狛江市にも多摩川が流れています。平成24年度から多摩川では火気厳禁とし、バーベキューも禁止とした結果、清掃を行ってもゴミが見つからないくらいきれいになったのですが、反面、活気が失われてしまいました。その活気を取り戻すため、これまで様々な取り組みをしているところではありますが、本日10時から、今まではなかったドッグランを河川敷にオープンいたします。リードなしで、ワンちゃんたちに自然の中を自由に駆け回ってもらおうと思っています。今日の16時まで、色々なイベントを開催します。私の都庁勤務時代のコネクションも活用し、移動水族館にも来てもらうことになっていきますし、キッチンカーなども沢山参加してくれることになっておりますので、この総会のあと、よろしければご参加ください。そして来月には河川敷の中に駐車場を整備します。今まで緊急用のヘリポートも無かったのですが、それも河川敷に作ることになっていきます。これからも、美しい多摩川を守りながら、多摩川フォーラムの一員として活性化に努めてまいりますので、皆さまのご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。本日はお招きいただき、誠に有り難うございます。これからドッグランのオープニングに駆けつけなければならないので、ここで失礼いたします。これからもよろしく願いいたします。

(司会) どうも有り難うございました。いまお話がありました通り、この後、高橋市長様におかれましては、ご公務のためご退席されます。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・齋藤浩一様にご挨拶をお願い致します。

(齋藤浩一様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、大田区で河川業務を担当しております、都市基盤整備部長の齋藤と申します。本来ですと、松原大田区長がこちらにお邪魔して皆さま方に親しくご挨拶をさせていただくところですが、公務が重なっておりますので、代理で参加させていただきました。松原区長は多摩川が大好きでして、来られないことを大変残念がっておりました。代わりに区長からのメッセージを皆さま方にお伝えするようにと仰せついておりますので、ご披露申し上げます。「今日は、美しい多摩川フォーラム平成29年度総会、おめでとうございます。また、今年度において設立10周年を迎えるという事で、謹んでお祝いを申し上げます。美しい多摩川フォーラムで提唱されている美しい多摩川100年プランでは、経済・環境・教育文化の3つの大きな活動を主軸として、地域の活性化へ繋げるという素晴らしい取り組みのもと、多くの団体が賛同しておられます。この美しい多摩川ですが、年々水質が改善され、魚道の整備等に伴い、豊かな自然環境が形成されております。5月12日の読売新聞の夕刊には、大田区の田園調布にある調布取水堰で多くの稚アユが勢いよく飛び跳ねながら川をさかのぼる姿が掲載されておりました。大潮の日に堰の上流と下流で水面の高低差がわずかになると、アユは堰の段差を飛び越えてたくましく川をさかのぼっていき、大田区の河口から約65キロ上流の青梅市御岳付近まで遡上が確認されているということでもあります。この多摩川の水質の向上は、美しい多摩川フォーラムの皆さまが、日々周辺の美化活動をはじめ、美しい多摩川100年プランとして進めている様々な活動の成果が大きく貢献しているものと感じております。平成26年の登録後、ボート教室をはじめ川流れ体験、清掃活動など、水辺の楽校の活動など、ますます充実しているというふうに伺っております。大田区では、こういう水辺の楽校の取り組みなどを引き続き支援していきたいと考えております。最後に、大田区のPRをさせていただきますと、大田区では多摩川の河口に位置する空港臨海部について、水辺の安らぎ空間づくりといったテーマで多くの人に安らぎと賑わえる場所を提供できるように取り組んでいるところであります。年間利用者が7500万人を超える羽田空港や、高度なものづくり企業が集積する京浜臨海部に位置する立地特性を活かし、産業交流施設やクールjapan発信拠点施設を官民連携により整備することで、地域経済の活性化や我が国の国際競争力の強化に貢献できるものと自負しております。一方、多摩川河口には昔から漁業が行われてきた羽田の海で、今もアサリやヤマトシジミ、沖にはスズキ、マハゼなど、様々な生き物が棲んでおります。これらの環境を維持する取り組みとして、大田区でも、多摩川河川清掃活動について多数の参加者にご協力をいただいているところであります。この豊かな美しい多摩川は、世代を超えて地域と行政が協力して守っていかなければならない大切な河川であるというふうに思っております。最後に、美しい多摩川フォーラムの益々の発展と皆さまのご健勝を祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。平成29年5月27日 大田区長 松原忠義」有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して、羽村市産業環境部長・橋本昌様に、ご挨拶をお願い致します。

(橋本昌様) ただいまご紹介いただきました、羽村市で河川業務を担当しております、羽村市産業環境部長の橋本と申します。本来であれば、並木市長がまいりましてご挨拶をさせていただくところですが、公務が重なっておりますので、私から市長のメッセージを代読させていただきます。「本日は、平成29年度の総会が盛大に開催されまして、誠におめでとうございます。細野会長をはじめ、役員の皆さま、そして青梅信用金庫の皆さまにおかれましては、美しい多摩川フォーラムの運営に多大なるご尽力を賜り、多摩川上流域の自治体のひとつとして深く感謝を申し上げます。皆さまご案内の通り、美しい多摩川フォーラムは各界でご活躍の皆さまにより、幅広い、特色ある取り組みが進められておりまして、これらは、羽村市が市民憲章に掲げております「多摩川の清流に育まれた心豊かな人間性と花と緑に恵まれた美しい街を誇りとする」という趣旨に合致すると同時に、羽村市が推進する水の保全、水辺を活用した賑わいの創出など、市外からの来訪者の増加や郷土愛の醸成に繋がる水をテーマに、輝く街に繋がるものと捉えているところでございます。引き続き、美しい多摩川フォーラムが、幅広い皆さまとの連携・推進のもとで、実践的な活動が大きな成果をあげられますとともに、ご参会の皆さまのご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。平成29年5月27日 羽村市長 並木心」代読。本日は誠におめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移りたいと思います。事務局から説明をお願い致します。

4. 経過報告 (ビデオ放映)

(事務局) 前にお座りの役員の皆さまは、お席をご移動ください。それでは、経過報告をさせていただきます。本日は、フォーラム運動の報告として3本、ビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。なお、定例事業等については、お手元資料の3ページをご参照いただければと存じます。

(ビデオ放映)

(事務局) いかがでしたでしょうか。役員の皆さまは、元のお席にご移動ください。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、フォーラムのホームページにビデオレーターというコーナーがあり、動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。以上で経過報告を終わります。

5. 協 議（議長:細野会長）

（司会）これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

（細野会長）細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆さまにおかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせていただきたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

（1）第1号議案:平成28年度事業決算(案)

（事務局）資料1ページ目の第1号議案:平成28年度事業決算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は、当初予算2,100,000円に対し、実績は1,947,000円となりました。これは、主に、大口会員が会費納入口数を減少させたことなどによります。因みに、本年3月末現在の会員数は、1,492会員となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、大田区民有志様による寄付金のほか、青梅市様からの委託金等が加わり、収入合計額は12,816,777円となりました。

一方、支出の部ですが、運営委員会、3活動部会につきましては、会場費の値上げにより、上振れしております。美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、参加が9団体増え、合計で37団体となったことによるポスター制作費等の増加により、上振れしております。その他、経費削減努力により、次期繰越金は、3,236,542円(うち1,371,935円は、毎年、大田区民有志の皆さんから寄せられた桜の植樹募金の積立金残高)となり、支出合計額は、12,816,777円となりました。

さて、平成28年度決算の監査ですが、資料の2ページ目をご覧ください。5月12日に、当フォーラム監事の館盛和様、同じく山崎眞義様より監査を受け、監査報告書をいただいております。

それでは、監事を代表して館様にご報告をお願い致します。

（館監事）只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成28年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。平成29年5月12日に、平成28年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成28年度活動報告等に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

（細野会長）はい、有り難うございました。何か皆さまの方からご疑問の点はありますか。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認いただけますようでしたら、拍手をもってお願い致します。（拍手）…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。

ただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案:平成29年度事業計画・同予算(案)

(事務局) 資料4ページ目の平成29年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,000,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、10周年記念事業寄付金として、さらに青梅信用金庫様より2,000,000円、匿名A社様より10周年記念事業寄付金として500,000円、東急百貨店様より300,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より259,200円を予定しており、前期繰越金3,236,542円と合わせて合計では16,395,742円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,190,000円、各種活動費として10,696,000円を計上しております。そのうち、網掛け部分は10周年記念事業で、合計では5,126,000円になります。なお、東北・夢の桜街道運動として例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金見込額は1,509,742円となり、合計では、16,395,742円となります。

資料5ページ目の10周年記念事業関連費用(概算)をご覧ください。10周年記念事業関連費用を纏めたものになります。網掛けの事業が10周年記念事業により、新たに資金負担が発生する案件になります。10周年記念事業費合計は、5,126,000円となります。なお、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。平成29年度段階では予算に計上されておられません。また、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の記念植樹イベントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、新たに資金負担は発生しません。シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、既存事業の見直しにより、削減額合計は2,626,000円となります。その結果、不足事業費は2,500,000円となり、青梅信用金庫様からの2,000,000円と匿名A社様の500,000円で賄う予定です。

資料6ページ目は、事業計画(案)の主な実施内容になります。アンダーラインの9つの事業が10周年記念事業になります。

資料7ページ目は、事業計画(案)の趣旨説明になります。8ページ目は主な事業活動の予定になります。9ページ目の会議&シンポジウムの予定をご覧ください。活動部会の⑥平成30年2月22日(木)とありますが、事前にご案内しているペーパーでは水曜日としておりました。正しくは木曜日となります。誠に申し訳ございませんでした。以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆さまの方からご疑問の点はありませんでしょうか。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認いただけますようでしたら、拍手をもってお願い致します。

ます。(拍手)・・・有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。事務局よりその他、何かありますか。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

(3)第3号議案:運営委員・監事の選任(案)

(事務局) 10ページの運営委員・監事の選任(案)をご覧ください。フォーラム規約第7条5項によりまして、現運営委員、監事の皆さまにおかれましては、本日で任期満了となりますので、議案にあるとおり、今後2年間の任期の運営委員・監事の選任(案)をご提出致します。

なお、新任の運営委員候補の方は、小田急電鉄株式会社CSR・広報部長の土川成一郎様、富国生命保険相互会社立川支社支社長の田崎利伸様、以上の2名様になります。私からの説明は以上です。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆さまの方からご質問はありますでしょうか。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認いただけますようでしたら、拍手をもってお願い致します。

(拍手)・・・有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。

(事務局) ここで、このたび新たに運営委員に就任されました2名の方に自己紹介をお願いしたいと思います。まず、小田急電鉄株式会社CSR・広報部長の土川成一郎様です。よろしく願い致します。

(土川成一郎様) 小田急電鉄株式会社CSR・広報部長の土川と申します。本日は、美しい多摩川フォーラムの総会にお招きいただき、有り難うございます。また、今回、運営委員に選任されたので、これから皆さま方と力を合わせてこの会の益々の発展に向けて努力してまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) 有り難うございました。続きまして、富国生命保険相互会社立川支社長の田崎利伸様です。よろしく願い致します。

(田崎利伸様) このたび、運営委員を仰せつかりました、富国生命保険相互会社立川支社長の田崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は4月に長崎から転勤してきたばかりで、多摩地域の魅力を知る上でも、美しい多摩川フォーラムは絶好の機会であると考えております。全国転勤する立場から申し上げますと、保険会社というのは地域貢献が一番足りていない部分ではないかと思えます。この美しい多摩川フォーラムを通じて、地域貢献ならびに魅力発信に微力ながら活動できればと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(細野会長) はい、有り難うございました。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。以上で、全ての議案が承認されましたので、事務局にボタンタッチします。有り難うございました。

(司会) それでは、この後、金屏風の奥にて、臨時運営委員会を開催し、会長選出等のご協議をいただきますので、運営委員、監事の皆さまにおかれましては、事務局でご案内致しますので、ご移動をお願い致します。臨時運営委員会開催の間、会員の皆さまにおかれましては、暫らくの間、休憩となりますが、10時45分にはご着席いただきますよう、お願いします。

—休憩(10分)—

6. 臨時運営委員会開催

(1) 新会長の選出

(事務局) 只今より、臨時運営委員会を開催致します。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長) 早速ですが、フォーラム規約第7条3項によりまして、新会長の選出を行いたいと存じます。新会長の選出にあたり、ご意見をお持ちの方、あるいは立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。……それでは、どなたかご推薦をいただけませんかでしょうか。

(平野副会長) はい。引き続き細野先生に会長をお願いしたいです。

(細野会長) 有り難うございました。平野様より引き続き私、細野をご推薦いただきました。他にご推薦、ご意見等ありますでしょうか。もしないようでしたら、私、細野でご承認いただけますでしょうか。(拍手)……有り難うございました。それでは、フォーラムの会長を引き続き私が担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(2) 副会長の指名

(細野会長) それでは、フォーラム規約第7条4項により、会長の私から副会長をご指名させていただきます。それでは、副会長には、東京農工大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の平岡治房様をお願いしたいと存じます。

(3) 名誉会長の委嘱

(細野会長) 名誉会長には、引き続きお茶の水女子大学名誉教授の篠塚英子先生をお願いしたいと存じます。

(4) 顧問、アドバイザーの委嘱

(細野会長) これまで顧問をお願いしていた、日本フィランソロピー協会理事長の高橋陽子様は、本日付で顧問を退任されます。また、新たに青梅信用金庫会長の森田昇様に顧問をお願いしたいと存じます。一方、アドバイザーとして、新たに青梅市カヌー協会会長の藤野強様にお願いしたいと存じます。そのほかの皆さまにおかれましては、引き続きよろしくお願い致します。

(5) 部会長、副部会長の指名

部会長は、平野啓子様、渡邊勇様、藪田雅弘様の3名の方をお願いしたいと存じますので、よろしくお願い致します。副部会長につきましては、引き続き山崎充哲様、小野木喜博様、堤香苗様にお願いしたいと存じます。お三方にはどうぞよろしくお願い致します。

(事務局) 以上で臨時運営委員会を終了致します。このあと、皆さまには総会会場の方へお移りいただければと存じます。

7. 「多摩川の歌」ほか合唱 (三多摩青年合唱団)

(司会) 皆さまお待たせ致しました。それでは、美しい多摩川フォーラムの歌である「多摩川の歌」を、三多摩青年合唱団の歌声に乗せてお届けしたいと存じます。準備のため、いましばらくお待ちくださいませ。三多摩青年合唱団は、結成されてはや54年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。それでは、よろしくお願い致します。

(三多摩青年合唱団) こんにちは。本日はお招きいただき、有り難うございます。総会おめでとうございます。今日は、この美しい多摩川フォーラムから生まれた、谷川俊太郎さん作詞で寺嶋陸也さん作曲の「多摩川の歌」、そして美空ひばりさんの名曲「川の流れるように」、こちらは川繋がりで見つけました。お聞きください。

…… 合 唱 ……

(1) 多摩川の歌

(2) 川の流れるように

(司会) 皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。うっとりするような「多摩川の歌」でしたね。フォーラムでは、引き続き、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。それでは、以上をもちまして、「多摩川の歌」の合唱を終ります。改めて、三多摩青年合唱団の皆さんに盛大な拍手をお願い致します。

8. 臨時運営委員会の結果報告

(事務局) 只今開催された臨時運営委員会におきまして、フォーラム規約第7条3項により、会長が選任されました。また、規約第7条4項により副会長も指名されました。その結果をご報告致します。会長には、引き続き中央大学総合政策学部教授の細野助博様、副会長には、引き続き東

京農工大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の平岡治房様が就任されました。

なお、日本フィランソロピー協会理事長の高橋陽子様は、本日付で顧問を退任されました。フォーラム規約第9条2項により、新たに青梅信用金庫会長の森田昇様が顧問に就任されました。

また、フォーラム規約第10条2項により、新たに青梅市カヌー協会会長の藤野強様がアドバイザーに就任されました。そのほかの皆さまにおかれましては、引き続きよろしくお願ひ致します。

次に、3つの活動部会についてですが、フォーラム規約第14条3項および4項により、引き続き平野副会長、渡邊運営委員、藪田運営委員が各部会長に就任されました。部会長をサポートする副部会長には、引き続き山崎運営委員、小野木運営委員、堤運営委員が就任されました。

ここで、細野会長に一言、お願ひ致します。

(細野会長) 10周年を迎え、新たに私が会長を務めさせていただくことになりました。先ほど、井上議員の話にもありましたように、美しい多摩川フォーラムは、ひとつに環境がキーワードです。ただいまイタリアでG7が開催され、各国のリーダーのほとんどが初出席で、メルケルさんと安倍さんはずっと出席しています。新たなアメリカの大統領は、地球環境についてどのように考えていらっしゃるのでしょうか。まだまだ学習なさっているところだと思いますので、今のスタンスとは違ってくるのかもしれませんが、私たちは地球環境のために何ができるのか、一番大事なものは、市民感覚を持った私たちです。美しい多摩川フォーラムは、100年プランを持っています。それをぜひ皆さまやお子さま、あるいはお孫さままでずっと引き続いていてもらいたい。多摩川から美しい環境、美しい地球がいかに貴重であるかということを語っていかなければならないと思います。今日は、昭和の歌姫、美空ひばりさんの「川の流れるように」という素晴らしい曲が披露されました。私たちは、あの歌のように色々な困難があるかもしれませんが、歯を食いしばって、あるいは楽しみながら、イベントと一緒にやりながら、美しい多摩川をつくり、そしてそれが東京の魅力、世界の魅力、世界の宝石箱になる、そのような美しい多摩川フォーラムでありたいと思いますので、引き続き、皆さまのお力をお借りしたいと思います。後ほどの意見交換で、皆さまから意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局) 有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。それでは、役員の皆さまにエールの拍手をお願ひ致します。

9. 応援メッセージ

(司会) 皆さん、美しい多摩川フォーラムの新しい10年に向けて新体制が発表されました。ここで、副会長に「これからの10年に向けて」応援メッセージをお願ひしたいと存じます。始めに、ダニエル・カール副会長にお願ひします。

(ダニエル・カール副会長) 皆さんこんにちは。山形弁研究家のダニエル・カールでございます。美しい多摩川フォーラムの副会長を任されたのが10年前です。もう10年も経ちました。初めてこのプロジェクトに取り組み始めた時に、100年プランと言われたのですが、「100年後には、おらあ、いねえなあ〜」と思っていました。ステップバイステップで続けていくしかないのですが、10%は過ぎたのです。100年のうち10年が過ぎましたので、これからの10年間は、もっと盛り上げていかなければ100年は続きません。僕が何故、美しい多摩川フォーラムに参加しているかと申し上げますと、私は川が大好きなのです。子どもの頃からアウトドアが大好きで、キャンプとかハイキングとか山登りとか魚釣りとか全部好きな青年でした。川が好きなのに、生まれ育ちがカリフォルニア南部で、雨が降らないと水が流れない「水なし川」しかありませんでした。日本に来たのは40年前ですが、着いたとたん、なんて川に恵まれている国なんだろうと思いました。初めての留学先が奈良だったので、東京から新幹線で京都まで行きました。車窓から沢山の川を見ることができたので、数えはじめましたが、小田原あたりであきらめました。余りにも川が多すぎたので。こんなに川に恵まれた、水に恵まれた国は、この地球にそう多くはないと思います。でも、日本の皆さんは、その凄さ、有り難さに関心が無いようです。これからの10年間は、その関心を高めなければなりません。私がよく講演で取り上げる話ですが、日本は良い所を自慢しないと、その良さを忘れてしまいます。多摩川もそうです。自慢する人って余りいないです。この会の人たち以外からは余り聞きません。長い川だし、色々な市町村が目にしてのだから、一心同体といいますか、統一感が取りづらいところがあります。この美しい多摩川フォーラムの集まりで、少しずつ一心同体の気持ち高めようではありませんか。遠慮せず、声を出して多摩川を自慢してはいかがでしょう。私は最近、江戸川区の仕事をしています。江戸川区のレストランを英語で紹介する番組を担当しています。50歳代に入ってからグルメ番組は止めたほうが良いです。私のようなお腹になってしまいます。江戸川区のグルメ番組をしながら、面白い所に気がつきました。江戸川区は、山もない、緑もない、森もない、住宅地しかないところなのに、江戸川区民は江戸川や中川などの川を自慢するのです。河川敷を大事にしたり、いつもそこで遊ぶ子どもがいたりして自慢します。何故同じことを多摩川で出来ないのか不思議に思います。私もこれからの10年間、皆さんと一緒にもっと自慢していこうと声を掛けていきたいと思えます。ですが、一人が声を掛けてもダメなのです。ぜひとも皆さんご協力をよろしくお願いします。ほとんど何にもしない副会長ですが、宣伝関係を今後10年間頑張りたいと思えます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。次に、平野副会長をお願いします。

(平野副会長) ダニエル・カールさんが「何もしていない副会長」とおっしゃいましたが、ダニエル・カールさんがあんなに私たちを元気にさせてくれるメッセージをくださるだけで、10年分の仕事をされたようなものです。ところで私は、フォーラムが設立されて3年目に入会しました。会長が細野会長に代わられたと同時に、私もメンバーに加わりました。私も子ども時代は川で遊んでおりましたが、ダニエル・カールさんほど熱い想いは抱いておりませんでした。この会に参加してから川へ

の想いが強くなってきました。今、私たちが水道の蛇口をひねると、飲み水が飲めます。特に東京の水道水は美味しいので、水道水と多摩川の水はなかなか結び付きません。また最近ではペットボトルの水も簡単に手に入ります。昔は水を買うなんて考えられませんでした。こういう時代ですから、飲み水と川の存在が切り離されてしまっていますが、羽村の取水堰のところから玉川上水を通して流れている水は、濾過後に私たちの水道水として入って来ています。多摩川がきれいだと、ただ見ているだけではなく、安全であるということがとても大切なのだと感じます。先ほど国交省の服部所長が過去の話をしていましたが、向こう100年を考えるために過去を見たほうが良いと私もつくづく思っています。玉川上水はもともと、徳川4代将軍の時に玉川兄弟が皆をまとめて開削し、成功を収めました。途中でお金が無くなっても、玉川兄弟が私財を投じて完成させたという美談もあります。そこから玉川という名字をもらったそうです。この玉川上水のお陰で、人口が増えて水が足りなくなっていた江戸市中に沢山の生活用水や飲料水が供給されるようになりました。玉川兄弟の功績は大きいのです。さて、最近、徳川吉宗の時代を調べていたら、江戸市中の人口は100万人で、幕府が財政破綻の寸前になっていたそうです。そこで年貢を沢山納めさせなければならなくなり、武蔵野の新田開発がとても大切だったということです。先ほど段丘の話が出ましたが、「はけ」という長い段丘が通っていて、「はけ」から水がしみ出し、多摩川の水も引きやすいので水田耕作が可能なのですが、「はけ」の上の武蔵野新田にあたる場所は水も取りにくく、今のようによく水をくみ上げて行きわたらせる技術もありませんでしたので、水田を作るよりも畑を作ること自体が大変でした。その時代に、享保の大改革の目玉事業として武蔵野の新田開発が計画されました。ちょうどその頃、玉川上水の大規模な改修工事があり、それを見事に地元の名主たちが29人集まって力を合わせて民の力で改修工事をやってのけました。ちょうどその時から農業用水の一部玉川上水の水を分けてもらえることになりました。そのことでより新田開発に役立ち、新田開発は大成功しました。これを指揮していた人が、私が住む府中市出身の名主さんでしたが、後に幕府に登用されお代官様になりました。私が申し上げたいのは、これほど多摩川の水が、玉川上水と共にとても大事な存在であったということです。享保の大改革の最中、玉川上水の大規模改修工事を行った2年後に大きな台風の被害に遭ったため、多摩川本流の40キロの治水工事が始まりました。これも、指示を出したのは幕府ですし、お金も幕府から出ていましたが、あるお代官様が9000両と見積もり、勘定方が6000両と見積もった時に、名主から代官に上り詰めた川崎平右衛門が地元農民を取りまとめて行った事業が4000両で仕上がりました。幕府は6000両を用意していたので、残りの2000両は、「後々の2年間にわたって使ってよろしい」ということになり、新たに向こう2年間の計画を行ったそうです。こうしたことから見ても、いかに多摩川に力をかけなければならないか、また、民の力によってその事業が効率よく良い事業に仕上がることが、過去の例から見ても分かります。ちなみに、4000両で完成した工事ですが、手抜きではないかと思われる方がいるかもしれませんが、「その工事の成果は、1万両にも値する。1万両の普請にも見え、ことのほか良く出来たので褒美を取らせたい」と、大岡越前守が「大岡忠相日記」に書き記しているほどの工事でした。こんなことができるのは、地元の力をまとめてこそです。どんなに行政がお金を出して「やれ」と言っても、地元の人たちが力を合わせないとできないと考えると、手前味噌に

なりますが、私たちがやっていることは、平成の大改革に携わっているのではないかと思います。先ほど井上信治先生が応援して下さいましたが、私たちが動かないと実現できません。これを実現するためには、先ほどダニエル・カールさんが「一人の力では駄目です」とおっしゃっていましたように、一人がどんなに有名人でも、皆が動かなければ駄目だと思うのです。ですから私も、細野会長、ダニエル・カールさんや先輩方、そして当フォーラムの筆頭スポンサーでもあります青梅信用金庫さんの応援のもとで、小さな力ではありますが、私も力を発揮したいし、皆さんの力もここに結集させて、10周年で事業成果を出し、向こう100年に繋げていきたいと思えます。以上です。

(司会) どうも有り難うございました。

10. 意見交換

(細野会長) ただいま、お二人の副会長からエールをいただきました。江戸川区民の人たちは、江戸川区内の江戸川や中川を誇りにしているそうです。私たちはもっと素晴らしい川を持っているわけですから、ぜひ誇りにしましょう。また、他の地域の人たちにぜひ自慢しましょう。次に、歴史も大事だということです。平野啓子さんからは川崎平右衛門の話がありました。彼の偉業は、この地域に住んでいた昔の人々の意気込みや志があったから実現しました。1万両を現在の価値にすると100億円くらいの価値があったのかもしれませんが。さて、この機会に、今後のフォーラム活動を展望して、皆さまからご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。

(山崎運営委員) 今年で10周年を迎え、7月29日には記念シンポジウムを開催します。色々な話が聞けると思いますので、ぜひ参加してください。また、毎年12月に「多摩川子ども環境シンポジウム」を開催していますが、100年先に伝えるのは子どもたちです。ぜひ子どもたちにエールを送りに足を運んでみてください。

(細野会長) 有り難うございました。「多摩川子ども環境シンポジウム」は私も毎回出たいと思いつながら欠席することも多いのですが、参加した時は発表内容がとても素晴らしいと思っています。子どもたちの目線が我々にも勉強になります。他にこういうイベントを開催してほしいというようなご意見がありましたらどうぞ。

(会員) 福生市の村山です。つい最近、恥をかいたことがあります。いま話題のドローンの技術試験に挑戦しましたが、その日は強い風が吹いており、2度にわたって墜落させ、不合格になりました。それから半年かけて再挑戦し、資格を取ることができました。今日の資料の中にありますが、ドローンで多摩川を映像化するということですので、何らかの形でご協力できるのではないかと思います。いま、上水と下水が分かれています、下水は生活排水と雨水の2つに分かれています。私が気になるのは、雨水の処理が十分出来ていないことです。それが全て多摩川に流れ込んでいます。それが海の魚たちや鳥たちに影響を与えています。行政できちんとフォローしなければ

ばいけないのではないかと感じております。今後の課題として取り組んでいただきたいと思います。もちろん私たちも一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

(細野会長) 有り難うございました。雨水の件は盲点だったと思ひます。行政も何とかしなければならぬと思ひていると思ひます。他にご意見はありますか。

(会員) 青梅市の丸山です。「青梅多摩川水辺のフォーラム」の事務局を担当しております。この会は、青梅市民ではなくても活動できます。基本的に子ども向けのイベントを行っています。主に青梅の河辺の川原で、草を取って草木染めやヨモギ団子を作ったり、岩場から川に飛び込んだりする川遊び、野鳥観察もしています。ぜひ一緒に活動しましょう。私も小菅とか福生とか川崎とか、多摩川各地に行っていますが、138キロの多摩川それぞれで顔つきが違ひます。広さも流れも匂いも違ひます。皆さんも、行ったことがなければ、色々な場所の多摩川に行ってみてください。今後、子どもたちに対する教育が大事だと思ひます。子ども向けのイベントを行えば、親もついてくるので、多摩川フォーラムとますます連携させていただければと思ひます。

(細野会長) 有り難うございました。山梨県の源流の新しい村長さんが私の教え子なのです。お子さんたちと一緒にハイキングを兼ねて行ってみるのも良いかなと思ひています。皆さんから色々なご意見をいただきました。これから新しい試みをしていかなければなりません、年間事業は50くらいあり、事務局も手一杯ですので、皆さんの力をお借りして「多摩川100年プラン」を継続していきたいと思ひます。では事務局にバトンタッチします。

(事務局) 皆さん、貴重なご意見を有り難うございました。今後のフォーラム活動に反映させて参りたいと存じますので、よろしくお願ひ致します。細野会長、お席にお戻りください。それでは司会者にバトンタッチ致します。

11. 会長総括

(司会) さて、早いもので、総会のお開きの時間が迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願ひしたいと存じます。

(細野会長) 10周年の節目にあたる総会が終了しました。先ほど平野副会長からお話がありましたように、市民の力や一人一人の想いというものが大きなエネルギーになります。地球全体から見れば、多摩川はピンのような大きさで、私たちは目に見えない存在かもしれません。しかし、エネルギーは不思議なもので、街を強く美しくし、市を強く美しくし、国を強く美しくし、そして地球を美しくするという連鎖反応を持ちます。「多摩川の歌」にもありますように、人々の心をゆるく結びながら、大きな力になるということを希望し、期待し、恐らくそれが実現することを確信しながら、これからの10年間を美しい多摩川フォーラムの活動により実現していきたいと思ひますので、よ

ろしくお願いいたします。今日は、これからの10年のスタートアップにふさわしい重要な総会でございます。午前中の貴重な時間を皆さんと一緒に過ごさせていただいたことを誇りに思いながら、今日の総会を終わります。有り難うございました。

12. 閉会挨拶(平岡副会長)

(司会) 有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、平岡副会長にお願い致します。

(平岡副会長) 皆さま、本日は早朝より美しい多摩川フォーラム平成29年度総会にご出席いただき、誠に有り難うございました。開会の挨拶で、細野会長より「今日の総会は、10周年に向けた非常に大切な総会である」とお話をいただきました。皆さまにご審議いただき、平成29年度の事業計画、及び予算案が承認されました。いよいよ本格的に事業がスタートする運びとなりました。本年度も沢山事業がございます。ぜひ皆さまにはご参加いただくとともに、この美しい多摩川フォーラムをますます応援していただきますよう、お願いを申し上げまして、閉会挨拶とさせていただきます。本日は有り難うございました。

13. 閉 会

(司会) 有り難うございました。皆さま、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力をいただきまして、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成29年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上